

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成25年度第11回定例会会議記録
開催日時	平成26年2月26日（水曜日） 午後6時30分から8時40分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：中曾根聡、渡辺文子、武司一郎、野間春二、瀬川容子、馬場真由美 真鍋五十鈴、畠山昭裕、西原みどり、上田幸夫、糸山時子 職員：田中館長、大平主幹、川口館長補佐、小笠原分館長、石川分館長、 長谷部分館長、平井分館長、水野伸江、伊佐英夫、保谷しげ美、星野美津子 山本幸治、新堀彰子
欠席者	委員：新藤浩伸、野澤幸美、小林克彦
議題	1 第10回定例会の記録について 2 報告事項 （1）行政報告 （2）公民館だより編集室報告 （3）都公連委員部会運営委員会報告 （4）教育計画策定懇談会報告 （5）第51回東京都公民館研究大会報告 3 事業計画書・事業報告書について 4 協議事項 平成26年度 西東京市公民館事業計画（案）について 5 事務連絡及び情報交換 利用者懇談会の出席について
会議資料の名称	資料1 西東京市公民館運営審議会平成25年度第11回定例会次第 資料2 西東京市公民館運営審議会平成25年度第10回定例会会議録 資料3 公民館だより編集室報告 資料4 平成26年度西東京市公民館事業計画（案） 資料5 社会教育委員研修会開催の案内 資料6 公民館だより3月号 資料7 利用者懇談会のお知らせ 資料8 事業評価関係資料 資料9 新地町訪問写真 資料10 関東甲信越静公民館研究大会報告（参加者のみ）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	有り 無し
会議内容	
<p>議題1 第10回定例会の記録について 訂正事項なし</p> <p>議題2 報告事項 (1) 行政報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市議会が2月28日～3月28日開催される。26年度当初予算が審議される。 ・柳沢公民館の排煙窓の工事は2月12日～16日で終了した。谷戸公民館のトイレ、床改修工事については、床工事は3月18日まで行う。トイレ工事は本日検査を終えたが、1階、2階女子トイレと誰でもトイレの配管が接続しており、これから行う誰でもトイレの工事中女子トイレが使えない。3月5日ま 	

で1階の男子トイレを女子トイレとして代用する。

(2) 公民館だより編集室報告

- ・報告書どおり。

(3) 都公連委員部会運営委員会報告

- ・第3回都公連委員部会研修会を実施した。

2月23日（日曜日）午後2時～4時 柳沢公民館

「教育委員会制度の改編と公民館」 荒井文昭（首都大学東京教授）

参加者は54人（職員を含む）であった。

(4) 教育計画策定懇談会報告

- ・2月13日（木曜日）に第14回懇談会（最終回）を開催した。パブリックコメントを受けて最終確認を行った。公民館に関しては評価表の作成を進め職員の能力向上に努める旨、記載した。議会審議を経て印刷する予定。

議題3 事業計画書・報告書について

平成25年度公民館主催事業企画書（11件）、報告書（12件）

（事業計画書）

・芝久保公民館

「子育て中の女性のための講座「私らしい生き方、はたらき方デザイン」」

○委員：

目標の達成度、参加者の評価、副次的効果から、充実した講座だったことが伝わり、評価する。来年度も継続を望む。

・保谷駅前公民館

「もしもの時の仲間づくり 公民館で歌って、つながろう」

○委員：

計画書ではイメージがわからなかったが、公民館を知ってもらうきっかけとなったこと等、評価する。勤労者、青少年が立ち寄りやすい館であるので、そうした層を対象とした企画すべきである。

・柳沢公民館

「防災訓練」

○委員：

参加者も262人と充実しており、このような訓練を繰り返すことが必要と考える。

○事務局：

最近自治会役員が事務室に立ち寄ってくださるようになり、別の事業にも参加されているなど、連携が深まっている。

阪神淡路大震災の際、倒壊物を除去する機材がなかった、という話を聞いた。公民館にもそのような機材があるとよい。

「くるみ学級」

○委員：

あめんぼ青年教室と合同のスポーツ大会が企画されていることを評価する。ボランティアの拡充が必要である。

○事務局：

数年ぶりに復活させた試みである。学級生も増え、企画を考慮中である。

「日本語講座」

○委員：

未定部分が多いが、大丈夫か。また、メインの講師はいるのか。

○事務局：

はっきりとしたカリキュラムを組めない講座である。参加者の日常の課題や希望に対応するためには柔軟性を残す必要がある。講師については、23年度の「日本語ボランティアスタッフ養成講座」修了者11人が担当している。

委員：

プログラムが決まっていることが本当に大事なのだろうか。たとえば参加者によっては日本語を学ぶ以上に大切なことを学ぶ契機となる可能性もある。

委員：

参加者はどこの国の出身者が多いのか。

○事務局：

韓国、中国が多い。

「ムービールーム柳沢」

委員：

一部日付に記載の誤りがあるのではないか。

○事務局：

12月17日は19日に訂正する。基本的に第2水曜・第4金曜日である。

・田無公民館

「田無カレッジ」

委員：

柳沢の「日本語講座」の話とは逆になるが、もう少しはっきりとプログラムを示してほしい。

委員：

終了後に参加者の自主的な活動につながるところにこの事業に意義がある。

○事務局：一分館となったこともあり、総花的な学級からテーマを絞り込んだ講座へと、昨年度転換した。

しかし班体制での仲間作りの趣旨は残している。また、人形劇フェスタのスタッフ養成という狙いもある。報告書や次年度以降の計画で狙いを可視化していきたい。

・全館

委員：

複数回にわたる講座はサークル化の話をしてほしい。

議題4 協議事項

事業評価表、事業計画書、事業報告書について

○事務局：

事業評価表の案を示す。計画書、報告書を集約するものである。

計画書、報告書の新フォーマット、キーワード集を示す。どのような課題に対する事業なのか、重点事業の中のどれに対応する事業なのか、教育計画をどう受けているのか、明確にするために計画書、報告書にキーワードを付す。

委員：

報告書が出るたびに公運審として2次評価をするのか。

○事務局：

年度に1回総体的な評価をお願いしたい。また、件数を評価するだけのものだけではなく、定性的なものを丁寧に評価してもらうべく情報を提供していく。

委員：

キーワード7「重点事業」と、8「地域人材の発掘や育成」は重複していないか。

○事務局：

8については「長期的視点での人づくり」が根拠であり、重複はしているが、評価項目がわかりやすいように挙げたものである。

平成26年度 西東京市公民館 事業計画（案）

○事務局：

検討結果、文言の整理、主な変更点の報告

・重点事業について

1 社会的制約を受ける例示として高齢者の文言を入れた。

3 「地域の仲間とともに学びあう」を冒頭に記載することで趣旨を明確化した。

・重点事業2「公民館の特色」と文中「公民館の特性」の使い分けについて

「特色」は公民館という施設の機能の特色、「特性」は各分館の「特性」という意味も含んで使っているが、確かに伝わりにくいかとも感じられる。「特色」に統一する。

○委員：

「防災意識の向上を図る」が筆頭なのはいかがなものか。

○事務局：

順序による軽重はないので了解いただきたい。

委員：

毎年同じ表紙で、年度の判別ができなくなっている。工夫をしてもらいたい。

委員：

事業計画にある日常の館運営についても公運審が評価するのか。

○事務局：

評価していただく。

議題5 事務連絡及び情報交換

(1) 利用者懇談会の出席（予定）について

- ・柳沢：畠山、野間、武司
- ・保谷駅前：渡辺、馬場、畠山、真鍋
- ・田無：畠山、中曽根、瀬川、野間
- ・ひばりが丘：西原、糸山、瀬川、畠山、野間
- ・芝久保：畠山、野間、馬場、渡辺
- ・谷戸：馬場、畠山、渡辺、中曽根、真鍋

(2) 受託警備員の対応について

2月1日（土曜日）に谷戸、保谷駅前、芝久保に講座の申込をした。電話に出るのが遅く、公民館だよりにある漢字が読めない、聞き取り事項を把握していないなど、対応に問題があった。

(3) 公民館運営審議会委員名簿について

了解をいただければ次回資料に同封して各委員にお送りする。

(4) 社会教育委員の研修会について

3月17日（月）14時～16時に開催される。

次回の日程について

3月19日（水曜日） 午後6時30分～ 田無公民館 第二学習室